

市内11地区で 議会と語る会開催



「市民として意見を言える場で良かった」「他の参加者の意見が参考になった」といった声がある一方、「前回の意見への回答がない」「意見や要望がその後どう扱われるのか分かりにくい」との指摘もありました。また、参加者の60代、70代が全体の77%を占め、若い世代や女性など、より多様な市民が参加しやすい運営の在り方を検討する必要性を感じました。

市民と語る会は、開催すること自体が目的ではなく、参加人数だけで会の成否を判断せず、多様な市民が参加できたか、十分に発言できたかも検証しながら、お寄せいただいた声を議会として受け止め、今後の調査や政策提言につなげ、その結果を市民に返していくことが大切です。今後も開催時間や進行、テーマ設定などを工夫し、「報告する場」から「対話し、受け止め、返す場」へ、さらに充実させていきたいと考えています。



陸前高田市議会の「議会と語る会」は、7月14日から31日まで、市内11地区で開催しました。15人の議員を3班に分け、議会の活動や予算等の資料、各常任委員会の取り組みを説明し、地域の課題や市政全般について市民と意見交換。計172人の参加で、地区別では10人未満の地区が4地区あった一方、「少人数だからこそ気楽に話せた」との声も寄せられました。

各会場では、道路・河川の維持管理やクマ対策、空き家、学校の統廃合、未給水地域への対応、漁港整備や漁業振興、人口減少、企業誘致、地域行事の継承、防災、再生可能エネルギーなど、暮らしに直結する幅広い意見や要望が寄せられました。

地域ごとに事情は異なりますが、市民の声には、議会が今後取り組むべき課題が具体的に示されていました。

これらの意見は、内容を整理



し、取扱方針を4つに分け、市長に申し入れるもの、議会内の特別委員会や調査するもの、総務・教育民生・産業建設の常任委員会で調査するもの、その他の意見として今後の議会活動の参考とするものに分類し、必要な調査や確認を進めていきます。

市民から頂いたアンケートには153人から回答があり、回収率は89%でした。満足度では肯定的な評価が過半数を占め、否定的な評価は1割未満でした。

市長へ申し入れ

議会と語る会の市民要望

本市議会は、議会と語る会での市民要望や提言を14項目にまとめ、9月29日に佐々木拓市長に申し入れました。

佐々木市長は「庁内で内容を確認し、対応を協議していきたい」と話しました。

報告書の詳細
はこちらから



主要要望事項

- クマ・有害鳥獣対策
- 道路整備・支障木対策
- 学校教育・統廃合・暑熱対策
- 公共施設・コミュニティ整備・運営
- 産業・企業誘致・道の駅・新施設活用 など14項目

